

# ～会長の時間～

## 【五大奉仕】

### 五大奉仕の定義

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門である**クラブ奉仕**は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である**職業奉仕**は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である**社会奉仕**は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である**国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である**青少年奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである。

(標準ロータリー・クラブ定款第5条)

この定義は当初、2007年規定審議会において、四大奉仕として採択された項目ですが、2010年規定審議会において、さらに第5項目の青少年奉仕（当時は新世代奉仕）が追加となり、五大奉仕となっています。ロータリーの哲学(奉仕理念)と奉仕活動の実践の両面からの基準となっています。

マルチプル・ポール・  
ハリス・フェローピン授与



ダンディ 月間会員

4つのテスト唱和



釣りを楽しむ会  
会長丸井会員

新人会員卓話



小川敏幸会員